

めぐみ

2023 年 3 月号

学校法人 聖公会北関東学園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel.222-5385 Fax 228-5010
E-mail hatsukari-kg@nifty.com

Z 世代って大変！

保育部教諭 山田 葉月

みなさんはどのような SNS をされていますか？LINE、Instagram、Twitter、Facebook…。SNS は友だちとネットワークを作る、情報収集、撮影した写真を多くの人に観てもらい、観ることを楽しむなど、私も日常的に利用しています。

昨年長女が高校受験でした。受験が終わると今まで張り詰めていた糸が切れ、好きなことをし、封印していた Instagram も始めました。映え写真を投稿すると私は思っていたのですが、「高校の友だちと今からつなげておくんだよ」と聞き、目から鱗。友だちって顔を合わせ作っていくものでは？と理解できず…。そして迎えた入学式。式が終わり親子で写真を撮り、物品購入をしていると「〇〇ちゃん？（娘の名前）」と声をかけられキーンと楽しそう。あとから聞くと入学前 Instagram でつながった、初めて会った子だとか!?時代の流れに驚くと同時に娘の笑顔を見て楽しい高校生活が送れそうと安心したのです。

しかし、4月後半「私には友だちがいない。この学校は私には合わない」と涙する娘。話を聞こうにも一日中部屋に閉じこもり登校もできなくなってしまいました。どうにか気分転換させようと無理矢理外へ連れ出し、2人でおいしい物を食べに行きました。ポツリポツリと自ら話し始めた内容に再び驚きました。「中学の時の友だちは、高校でできた友だちと写真や動画を撮って楽しんでいるのに、私はまだそんなことできる友だちがいない」と言うのです。新生活に慣れるのが必死で、日常の一部を切り抜き、見映えがするように加工された投稿を見て、友だちと自分を比べ苦しくなってしまったようです。すべてをありのままに受け止めてしまったら、自分にとっての正解が分からなくなるのも当然です。SNS を理解できる年齢だと油断していた私も反省し、スマホから一旦離れることを勧めました。

生まれた時からネット環境にある今の子どもたち。ネットの情報に惑わされたり、間違った認識から思わぬトラブルに巻き込まれたりするケースも少なくないと思います。今回の経験から、生活に影響したり精神的な負担が多い時には離れてみる。また、ネットの情報に振り回されるのではなく自分の意思で情報を取捨選択をし、使いこなす能力を身につけていく力を養うことが必要なのではないかと思います。

現在は「あの時は病んでいたんだよね」と笑い飛ばすぐらい友だちもたくさんでき、JK ライフを楽しんでいます。写真は加工アプリで加工され、見事に編集された動画。家族写真まで加工されてしまうので、私はこっそり写真を撮りためています。ありのままの自分も受け入れられないとね!!

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ
「うれしいね」

目 標

- 安心と希望を持って歩みを進める
- 神様の見守りの中で、大きくなったことを感謝する

学年別のねがい

- (1歳) 自分でできることが嬉しい
- (2・満3歳) 興味が広がる
- (年少組) 大きくなることに憧れ、期待を膨らませる
- (年中組) 進級への期待が高まり、自信を持つ
- (年長組) 就学を期待し、希望を持って歩む

ひとこと

梅の白い花が満開です。サクランボや桜の木の蕾も膨らんできました。庭の木々も花開く暖かい春を待っています。木々の蕾が花開くときを待つように、次のステージへ進む一人一人が期待に胸を膨らませていることでしょう。たくさんの人に愛されて、神様に守られて、この1年で、どの子も本当に大きく成長しました。次の歩みにも神様の見守りがあることを忘れずに、安心と希望を持って進んでほしいと思います。嬉しい気持ちいっぱいので3月となりますように！

今月の聖歌

「ちいさいいのちが」

今月の歌

「小さな世界」

★予 定★

日	曜	行事などの予定
1	水	入園準備会 (3号)
2	木	アルミ缶回収
3	金	全体礼拝 ちらし寿司会食 ↓
4	土	就労家庭保育実施日 幼稚園委員会 保護者・教職員交流会
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	3月生まれ誕生会
9	木	お別れ会 地震引き渡し訓練 職員会議
10	金	
11	土	就労家庭保育実施日
12	日	
13	月	
14	火	年長組読み聞かせ「おはなしの会」
15	水	
16	木	
17	金	卒園式予行 期末短縮
18	土	就労家庭保育実施日
19	日	
20	月	期末短縮
21	火	春分の日 第122回卒園式・修了式
22	水	1号・新2号春休み開始
23	木	
24	金	
25	土	就労家庭保育実施日
26	日	学園理事会
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	



チャプレンのページ



聖書

聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、

戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です

(テモテへの手紙2 第3章16節)

この紙面を通して、皆様と聖書について学ぶ時を持ってきました。冒頭の聖句のように、聖書の教えは、キリスト教信徒であるなしに関わらず、人間として生きていく上ですべての人に有益であると言っています。

聖書は英語の Bible を訳した言葉ですが、どうして聖書と訳されたのか、垣間見てみましょう。

「聖」は「せい」と読むとともに、「ひじり」と読みます。ひじりとは、「日知り」という言葉が変化してできたと考えられています。「日知り」すなわち天体の動きを知る者、春夏秋冬を司る者、自然の力など、それをすべて司るとともに自由に動かすことができる者、それが日を知る者、「日知り」であるというわけです。聖書に書かれている神はまさに「日知り」そのものであり、その存在について書いた書物であるので、聖書と呼んでいるということになります。人間にはわからないこと、到達できないことがたくさんあるが、神様はそれらをすべてご存じであり、自由にすることができると信じた人々によって聖書は書かれたのです。

牧師になって 39 年になりますが、人間は目に見えない力の影響を大きく受けているのだと実感することが何度もありました。出産は満ち潮の時に増えるというのは皆様もお聞きになったことがあると思います。反対に引き潮の時には逝去者が増えます。

私たちは普段、引力の影響を受けて生きてると実感することはほとんどありませんけれども、余裕を持ってない限界状況になると、確実に目に見えない大きな力に支配され、生かされているのがわかります。

コヘレトの言葉、第 12 章 1 節に、「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」という言葉があります。この言葉は「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えなさい」と教えられ、幼少のころから神様の存在としっかりと心に刻む重要性が、時間と距離を超えて語り継がれてきました。

世の中はすっかりデジタル時代となり、目に見えない存在や、数字で表せない存在はなかなか評価されず、理解されないようになってきているように思います。デジタル機器の便利さを否定するつもりはありませんが、デジタルの基本はすべてを 0 と 1 に置き換えて計算したり比較したり繰り返したりして作業を進めていく過程です。

人間は決して 0 と 1、白か黒で判断できる存在ではありません。人それぞれの個性もあります。それを造られた存在を心にしっかりと刻んで幼少期を過ごしてもらいたい、それが聖書の教えの基本です。

園児と皆様の上に、主の豊かな恵みと導きを祈ります。

(チャプレン 鈴木 伸明)

クラスの窓



つくし組

心も体も大成長！

ある朝新聞紙を破いて遊んでいると1人の子が新聞紙を集め始め、洗濯ばさみで洗濯干しのよう新聞をはさみ始めました。干し終わると今度はレジャーシートのようにソフトブロックの上に敷き（ちゃんと隙間がないように丁寧に）、「○○ちゃんおいで！」と声をかけてそれに応じた子が横にちょこん。まるでピクニックのように遊び始め、会話を楽しんでいます。他の子は新聞にうつっていた人形の写真が気に入り「お家へ持って帰る」と大切にカバンにしまったり、くるくる丸めてのり巻き!?!にしたり…友だちが遊んでいる姿にヒントを得て「ただの新聞紙」がいろいろなものに変化し、遊びが発展していきました。

お話が上手になってきたことで友だちや保育者とのやりとりが増え、自分の考えていることもうまく伝えられるようになりました。最近驚いたのは皆で木の根をプチプチと引っっこ抜いていると、マグカップに細〜い根っこを詰めて「ほら、根っこコーヒーだよ!」。これには感心し、成長を感じました。成長といえばこの1年で身長平均+7.1cm、体重平均+2kg 増え、心も体も大成長のつくし組でした!!

もも組

自ら好奇心を持って遊びに

3学期は夕方の時間、どんぐり組と過ごすことが増えたもも組。以前は園庭にお兄さんたちがいるとドキドキしてどうしてもクラスの友だちと固まって遊ぶことが多かったのですが、最近はお兄さんお姉さんたちの遊びに興味津々です。ある日の夕方、ボールの入ったカゴに紐を結び舟からそれを上げ下げする通称「エレベーターごっこ」に興味を持ち、自分から舟の上に登ってお兄さんたちと一緒に遊んでいる子がいました。翌日の日中、園庭に出ると「エレベーターごっこしたい!」とリクエストがあり、昨日遊んだどんぐり組の先生に必要な道具を聞き、お兄さんたちに手伝ってもらい、見事に昨日の再現ができてとても満足していました。そしてそれをクラスの友だちにも教えてあげ、遊びが広がっていました。保育者が介入しなくても、自ら好奇心を持って遊びに入っていくようになってきたなと感じます。

もうすぐちゅうりっぷ組になりこの中に入っていくもも組。「より世界が広がっていくのだな」と今からとても楽しみです。

ちゅうりっぷ組

みんな違ってみんないい

今年の年少組は年少組らしく、個性豊かで十人十色! 思い返せば、最初のころは寂しさと不安で涙し、先生が「始めるよ」と声をかけてもなかなか集まらず「〇くんがいない!」「みんなを探そう」となることも。するとすみれ組や事務室…毎日違う場所で発見されます。まるでかくれんぼをしているかのような日々でした。

しかし最近では「ちょっと行ってくる」と部屋を出るの子を見て「きっと戻ってくるよね。すみれ組好きだもんね」と周りの子が相手を信じ、待とうとする姿があります。しばらくすると

何事もなかったかのように「ただいま」と笑顔で戻って来るのです。

「レジャーシート忘れちゃったから入れて」「いいよ！ここどうぞ」「もっと遊びたかったな」「そういう時もあるよね。また後で続きやろう」こんな会話が子どもたちの中で自然と出てくるようになりました。相手を信じ、気持ちを互いに受け止めながら折り合いをつけて過ごせるようになりました。不安だったころ、いろいろな先生に気持ちを受け止めてもらい、遊んでいるうちに落ち着ける場所を見つけたみんな。ちゅうりっぷ組にとって、園内には安心できる場所や先生がたくさんいて、その存在が友だちが変わってきているのです。「みんな違ってみんないい」そんなことを教えてくれたちゅうりっぷ組の1年間。来年度からはそれぞれのクラスや場所で一人一人のペースでまた大きくなっていくことを楽しみにしています。

たんぽぽ組

ごほうびピクニック♪

先日、給食やお弁当を持ってピクニックに行ってきました。事の始まりは、2学期後半。集まって話をするとき、気持ちがバラバラで聞くことが難しかったことから、みんなで話をし、「最後まで聞く！」という目標をたてました。できたときには、ホワイトボードに花丸を貼り、全部集まったら、ピクニックをしようと約束もしました。

「花丸があと一個」というところで、「礼拝の時、すみれ組に丸をもらえたら、完璧だね」とある子が一言。最後の花丸は、すみれ組に丸をもらえたら貼ることにしました。（全体礼拝の姿を見て、来年度、当番を任せられるかどうか、○、△、×のいずれかですみれ組が評価をしてくれています）始めは三角ばかりでしたが、その都度次はどうしたらいいのだろうと考え、4回目で無事、丸をもらうことができました!!

目標達成をしたのでピクニックへ！悩んだときにはみんなで一緒に考えて、最後まで頑張り続けられたこと、そして目標が達成できたことを嬉しく思います。ごほうびピクニック楽しかったね♪

すみれ組

優しさを友だちや先生におすそ分け

2月半ばに菓子屋横丁へ散歩に行きました。子どもたちお手製のスタンプカードを首から下げて、自分たちで決めたスポットを見つけてスタンプを押しました。子どもたちで散歩を計画して、それを実行できたことがとても嬉しそうでした。残りわずかの3月も子どもたちの「やりたい！」を大事に過ごしていきたいと思います。

これまでの幼稚園生活でいろいろなことを乗り越えてきたすみれ組。緊張したり、立ち止まりたくなったりしたときには、どうしたら良いかをみんなで一緒に考えました。失敗も経験し、子どもたちから「失敗は成功のもと」ということを私自身も教えてもらいました。すみれ組にはいつも優しさがあふれていた気がします。その優しさを友だちや先生にもおすそ分けする、温かいみんな。ときに「頑張りすぎていないか」と心配することもありましたが、きっとそれが自然にできるクラスなのだと思います。そんな温かい心をいつまでも大切に、胸を張って大きくなってほしいと願っています。

昼寝をしている子を起こしたり、おやつ準備をしたり、散歩で小さい子を守ってくれたり、困っている子を助けてくれたり、3学年で過ごしているからこそ、すみれ組の力があちこちで発揮されていました。何かあった時に、先生からよりもお兄さんお姉さんの言葉の方がすんなり受け入れられることも多く、たんぼぼ・ちゅうりっぷ組だけでなく、保育者が助けられている部分もたくさんありました。そんなすみれ組もまもなく卒園していきます。

そこで最近、散歩の時の手繋ぎペアを変えてみました。これまではすみれ組にちゅうりっぷ組を守ってもらっていましたが、たんぼぼ組にその役目をお願いしています。たんぼぼ・ちゅうりっぷペアとすみれペアが交互に並んで出発です。ちゅうりっぷ組が道路側を歩いているときには「手が反対だよ」、前の人と間が空いているときには「前に詰めて」と後ろから優しく教えてくれます。一生懸命なたんぼぼ組を見て、間が空いていることに気づいて自ら追いつこうとするちゅうりっぷ組の姿もありました。

それぞれ進級、進学に向け準備を始めている今、縦割りだからこそ目の前で感じられるこの時間を、大切に過ごしていきたいと思います。大家族のどんぐり組。残り1ヶ月、たくさん遊ぼうね！



今月の聖書のおはなし



☆ 3月3日「イエスさまの復活」

マタイによる福音書 27章 62~66、28章 1~20

イエス様は十字架の上で息をひきとられ、洞穴のお墓に葬られました。イエス様を嫌う人々はお墓を見張ることにしました。弟子たちがイエス様のお体を盗み出し、「イエス様は復活した」と宣伝するかもしれない、と思ったからです。それから3日目の朝、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に行くと、洞穴をふさいでいた岩は転がり、天使がその上に座っていました。天使は告げました。「イエス様は復活した。ガリラヤで会える」と。マリアたちからそのことを知らされた弟子たちは自分たちの故郷ガリラヤへと急ぎました。復活したイエス様は、ガリラヤの山の上で弟子たちに命じました。「すべての人に、神さまの救いを伝えなさい。わたしは世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる」と。